

# 春限定『細工蒲鉾さくら』



さくら咲くセット 2,200円 税込



### ①石臼で魚肉を練る



②石臼でさくら色の生地を作る



### ③すり身を練り型に入れる

季節の味をお届けします

# さくら咲くセット

新聞  
及善蒲錦店

3月15日（日）

[発行]  
株式会社

〔編集〕  
及川善弥・沼倉中彦



◎3月23日～3月28日  
西武新宿線本川越P.e.  
e 10時～21時 最終日17時



◎2月1日～2月28日  
JR仙台駅新幹線改札内  
1か月頑張りました

# 催事予定

## 催事報告



さんさん商店街に、辰巳琢郎さんがいらっしゃいました！  
本設の新商店街開業には、是非お出で下さるとのこと。

## 社長よりご挨拶

東日本大震災から早4年を経過致しました。この4年間は本当に無我夢中で走って来た感があります。当社においては2011年の9月に、登米市の皆さんのお世話により佐沼の地に工場を再開する事が出来、何とか今日に至っております。▼避難所に暮らしながら、南三陸町の商人達みんなで、  
市」は2015年3月月に立ち上げた「福興市」は2015年3月月に立ち上げた「福興市」の勢で仮設商店街「さんさん商店街」を2012年2月にオープンして以来、大勢のお客様に支えられながら、先日三周年を迎えることが出来ました。今度は盛土した旧市街地に本設商店街を計画しており、2016年12月の開業を目指します。▼一方では、まだ仮設住宅に5,300人の町民が暮らしており（2015年3月現在）、震災直後の2011年4月に立ち上げた「福興市」は2015年3月月に立ち上げた「福興市」の勢で仮設商店街「さんさん商店街」を2012年2月にオープンして以来、大勢のお客様に支えられながら、先日三周年を迎えることが出来ました。今度は盛土した旧市街地に本設商店街を計画しており、2016年12月の開業を目指します。▼一方では、まだ仮設住宅に5,300人の町民が暮らしており（2015年3月現在）、

震災直後の2011年、市」は2015年3月、継続45回目を迎えます。その「福興市」の勢いで仮設商店街「さんさん商店街」を2012年2月にオープンして以来、大勢のお客様に支えられながら、先日三周年を迎えることが出来ました。今度は盛土した旧市街地に本設商店街を計画しており、2016年12月の開業を目指します。▼一方では、まだ仮設住宅に5,300人の町口が暮らしております（2014年12月末現在）、日も早い住居建設を願っている状況です。またこの復興を待ち切れない諸々の事情により町を離れていく人達も後を絶ちません。この町に残つてるのは、国や行政に要請したい項目は枚挙にいとまありません。▼復興に向けてこれからさらによく、年月の戦いが続きます。震災から4年たつてもまだこんな状態であると張ろうという気概だけは対処出来るものではあります。この町に残つてゐるのも確かに、何となく、国や行政に要請したい項目は枚挙にいとまありません。▼復興に向けてこれからさらによく、年月の戦いが続きます。震災から4年たつてもまだこんな状態であると、うのも確かだし、何となく、ここまで来た、と言えていいことがあります。▼しかしながら希望を持って一步ずつ前に歩み続けるということがあるのも確かであります。▼しかし自分がこれまで来た世界中の皆さんからのご支援に報いる返しであり、犠牲になされた方々への最良の鎮墓であると思います。▼少しうまわり続けながら、南三陸町の躍動の地域未来、実現に貢献できる企業を目指して進んで参ります。